

第III章 家族・人とのつながり

ここでは、自分自身の家族や人とのつながりについて、捉えている。

1. 未既婚

自身の未既婚を捉えるため、以下のように尋ねた。

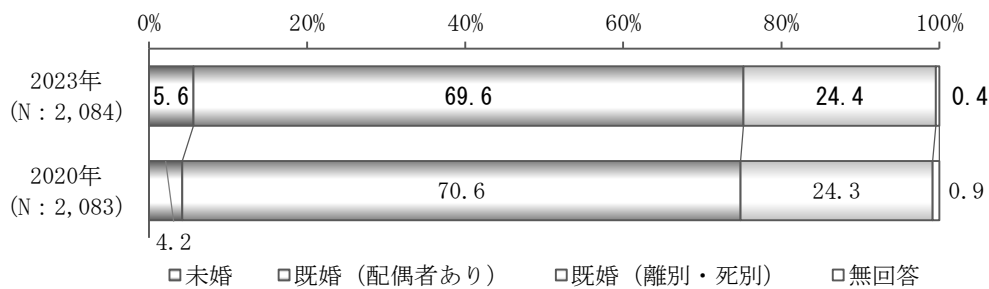
あなたは結婚していらっしゃいますか。この中からお答えください。

- 1 未婚
- 2 既婚（配偶者あり）
- 3 既婚（離別・死別）

本人の未既婚の別については、「既婚（配偶者あり）」が 69.6%を占めている。次いで、「既婚（離別・死別）」が 24.4%、「未婚」が 5.6%となっている。

前回と比較すると、「未婚」が 1.4 ポイント増加している。（図表Ⅲ-1）

<図表 Ⅲ-1> 未既婚



性別にみると、「既婚（配偶者あり）」と「未婚」は、女性より男性で高くなっている。一方、「既婚（離別・死別）」は、女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「既婚（配偶者あり）」は高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。一方、「既婚（離別・死別）」は高い年齢層ほど高くなっている。（図表Ⅲ-2）

<図表 Ⅲ-2> 未既婚〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	未婚	既婚 (配偶者あり)	既婚 (離別・死別)	無回答
全体		2,084	5.6	69.6	24.4	0.4
性別	男性	996	6.8	79.5	13.4▲	0.3
	女性	1,088	4.5▲	60.5▲	34.5	0.6
本人年齢別	60～64歳	380	11.1	75.5	13.4▲	-
	65～69歳	400	9.0	73.3	17.8▲	-
	70～74歳	463	3.9	75.6	20.1▲	0.4
	75～79歳	369	2.7▲	71.3	24.7	1.4
	80～84歳	273	2.9▲	63.4▲	33.7	-
	85～89歳	141	1.4▲	47.5▲	50.4	0.7
	90歳以上	58	1.7	29.3▲	67.2	1.7

2. 家族とのつながり

(1) 家族形態

①同居家族

同居家族を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたと同居しているご家族をこの中からすべてあげてください。なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

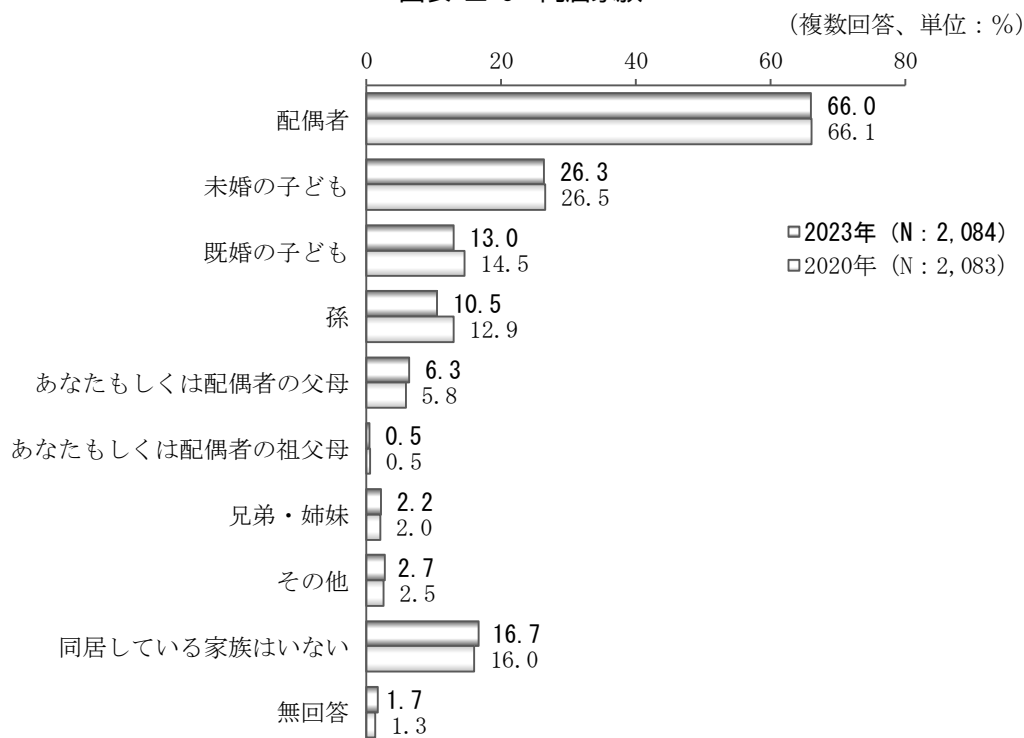
- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1 配偶者 | 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 7 兄弟・姉妹 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | 9 同居している家族はいない |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |

その結果、「配偶者」が 66.0%と最も多く、次いで、「未婚の子ども」が 26.3%、「既婚の子ども」が 13.0%、「孫」が 10.5%となっている。また、「同居している家族はいない」は 16.7%となっている。

ちなみに、「未婚の子ども」「既婚の子ども」の平均はいずれも 1.2 人、「孫」の平均は 1.9 人となっている。

前回と比較すると、「孫」が 2.4 ポイント減少している。(図表Ⅲ-3)

<図表 Ⅲ-3> 同居家族



	2023年	2020年
未婚の子ども 平均 (人)	1.2	1.3
既婚の子ども 平均 (人)	1.2	1.3
孫 平均 (人)	1.9	1.9

性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」は、男性の方が女性を上回っている。「既婚の子ども」「孫」「同居している家族はいない」は、女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」は60～74歳の層で7割台と高くなっており、高い年齢層ほど低くなっている。「未婚の子ども」も高い年齢層ほど低くなっている。一方、「既婚の子ども」「孫」は高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。「あなたもしくは配偶者の父母」は60～64歳で高くなっている。また、「同居している家族はいない」は85～89歳で高くなっている。(図表Ⅲ-4)

<図表 Ⅲ-4> 同居家族〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあなたもしくは父	父はあなたもしくは母	兄弟・姉妹
全体		2,084	66.0	26.3	13.0	10.5	6.3	0.5	2.2
性別	男性	996	75.8	27.4	9.8▲	8.1▲	7.4	0.7	2.5
	女性	1,088	57.0▲	25.4	15.8	12.6	5.3▲	0.3	1.8
本人年齢別	60～64歳	380	72.1	37.1	6.8▲	5.3▲	17.6	1.6	2.9
	65～69歳	400	71.5	30.0	9.3▲	7.8▲	8.3	0.8	3.3
	70～74歳	463	71.1	24.2	11.9	11.4	5.4	0.2	1.7
	75～79歳	369	66.4	23.6	16.0	13.6	1.1▲	-	2.2
	80～84歳	273	59.7▲	19.4▲	14.7	12.1	1.1▲	-	0.7
	85～89歳	141	45.4▲	18.4▲	21.3	13.5	-	-	2.1
	90歳以上	58	24.1▲	17.2	39.7	20.7	-	-	-

		N	その他	家同居はしていない	無回答	未婚の平均(子ども)	既婚の平均(子ども)	孫平均(人)
全体		2,084	2.7	16.7	1.7	1.2	1.2	1.9
性別	男性	996	1.7▲	13.8▲	1.8	1.3	1.2	1.9
	女性	1,088	3.6	19.3	1.6	1.2	1.3	1.9
本人年齢別	60～64歳	380	1.3	13.9	0.3▲	1.3	1.3	1.8
	65～69歳	400	2.0	16.3	1.3	1.3	1.2	2.0
	70～74歳	463	1.9	13.8	2.6	1.2	1.2	2.0
	75～79歳	369	2.4	15.7	2.4	1.1▲	1.3	2.1
	80～84歳	273	4.0	20.5	2.2	1.1▲	1.2	1.9
	85～89歳	141	6.4	25.5	-	1.3	1.2	1.6
	90歳以上	58	8.6	25.9	3.4	1.3	1.1	1.9

②家族形態

前述の同居している家族の選択肢から、以下のように「家族形態」を設定した。

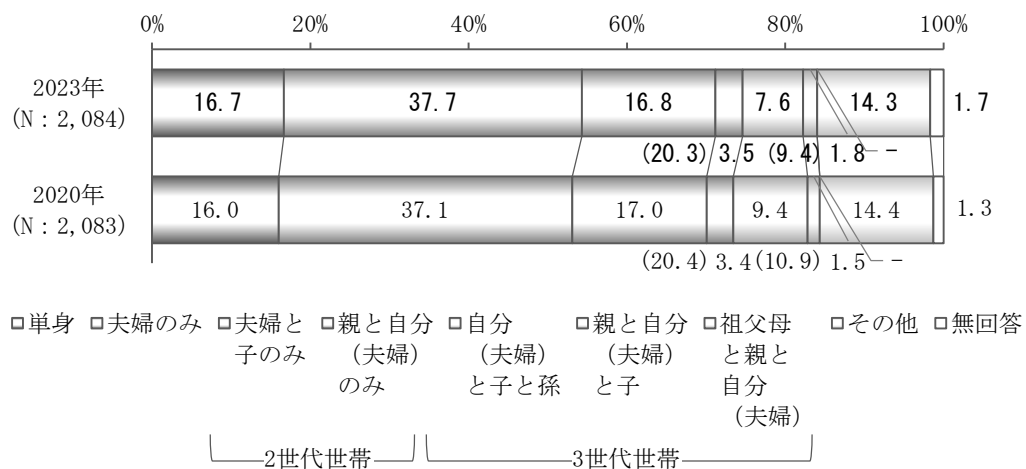
【家族形態】	
1 単身	回答が「同居している家族はいない」
2 夫婦のみ	回答が「配偶者」のみ
3 2世代世帯	家族形態の4～5
4 夫婦と子のみ	回答が「配偶者」と「子ども」のみ
5 親と自分（夫婦）のみ	回答が「あなたもしくは配偶者の父母」（と「配偶者」）のみ
6 3世代世帯	家族形態の7～9
7 自分（夫婦）と子と孫	回答が「子ども」と「孫」
8 親と自分（夫婦）と子	回答が「あなたもしくは配偶者の父母」と「子ども」
9 祖父母と親と自分（夫婦）	回答が「あなたもしくは配偶者の父母」と「あなたもしくは配偶者の祖父母」
10 その他	上記に当てはまらない回答

その結果、「夫婦のみ」が37.7%と最も多く、次いで、「夫婦と子のみ」が16.8%、「単身」が16.7%の順となっている。

なお、「2世代世帯」（“夫婦と子のみ”と“親と自分（夫婦）のみ”の回答の合計）は20.3%、「3世代世帯」（“自分（夫婦）と子と孫”、“親と自分（夫婦）と子”と“祖父母と親と自分（夫婦）”の回答の合計）は9.4%となっている。

前回と比較すると、「自分（夫婦）と子と孫」が1.8ポイント減少している。（図表Ⅲ-5）

<図表 Ⅲ-5> 家族形態



性別にみると、「夫婦のみ」「夫婦と子のみ」は、男性の方が女性を上回っている。一方、「単身」「自分（夫婦）と子と孫」は、女性の方が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「単身」は85～89歳で、「夫婦のみ」は70～74歳で、「自分（夫婦）と子と孫」は90歳以上で、それぞれ高くなっている。「夫婦と子のみ」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。（図表Ⅲ-6）

<図表 Ⅲ-6> 家族形態〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	単身	夫婦のみ	2世代世帯		その他	無回答
					夫婦と子のみ	母親と自分（夫婦）		
全 体		2,084	16.7	37.7	20.3	16.8	3.5	
性別	男 性	996	13.8▲	41.5	25.3	21.4	3.9	
	女 性	1,088	19.3	34.2▲	15.7▲	12.7▲	3.0	
本人年齢別	60～64歳	380	13.9	30.8▲	33.9	24.5	9.5	
	65～69歳	400	16.3	36.3	27.0	22.3	4.8	
	70～74歳	463	13.8	43.6	17.5	14.5	3.0	
	75～79歳	369	15.7	40.7	16.3▲	16.0	0.3▲	
	80～84歳	273	20.5	41.8	12.8▲	12.1▲	0.7▲	
	85～89歳	141	25.5	33.3	5.7▲	5.7▲	-	
	90歳以上	58	25.9	17.2▲	3.4▲	3.4▲	-	
		N	3世代世帯	と自分と孫（夫婦）	母親と自分（夫婦）	自祖父（夫婦）と祖母（夫婦）	その他	無回答
全 体								
性別	男 性	996	8.5	6.2▲	2.3	-	9.1▲	1.8
	女 性	1,088	10.2	8.9	1.3	-	19.0	1.6
本人年齢別	60～64歳	380	9.5	3.7▲	5.8	-	11.6	0.3▲
	65～69歳	400	8.5	6.8	1.8	-	10.8▲	1.3
	70～74歳	463	9.5	8.2	1.3	-	13.0	2.6
	75～79歳	369	10.3	9.8	0.5▲	-	14.6	2.4
	80～84歳	273	8.4	8.4	-	-	14.3	2.2
	85～89歳	141	8.5	8.5	-	-	27.0	-
	90歳以上	58	15.5	15.5	-	-	34.5	3.4

(2) 家族および付き合いのある親族

① 家族および付き合いのある親族

家族および付き合いのある親族を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたのご家族や付き合いのある親族をこの中からすべてあげてください。ここでは、単身赴任や施設などに入居されているご家族や親族も含まれます。なお、ご回答はあなたからみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1 配偶者 | 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 2 未婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 7 兄弟・姉妹 |
| 3 既婚の子ども (<input type="text"/> 名) | 8 その他 |
| 4 孫 (<input type="text"/> 名) | 9 家族や付き合いのある親族はいない |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | |

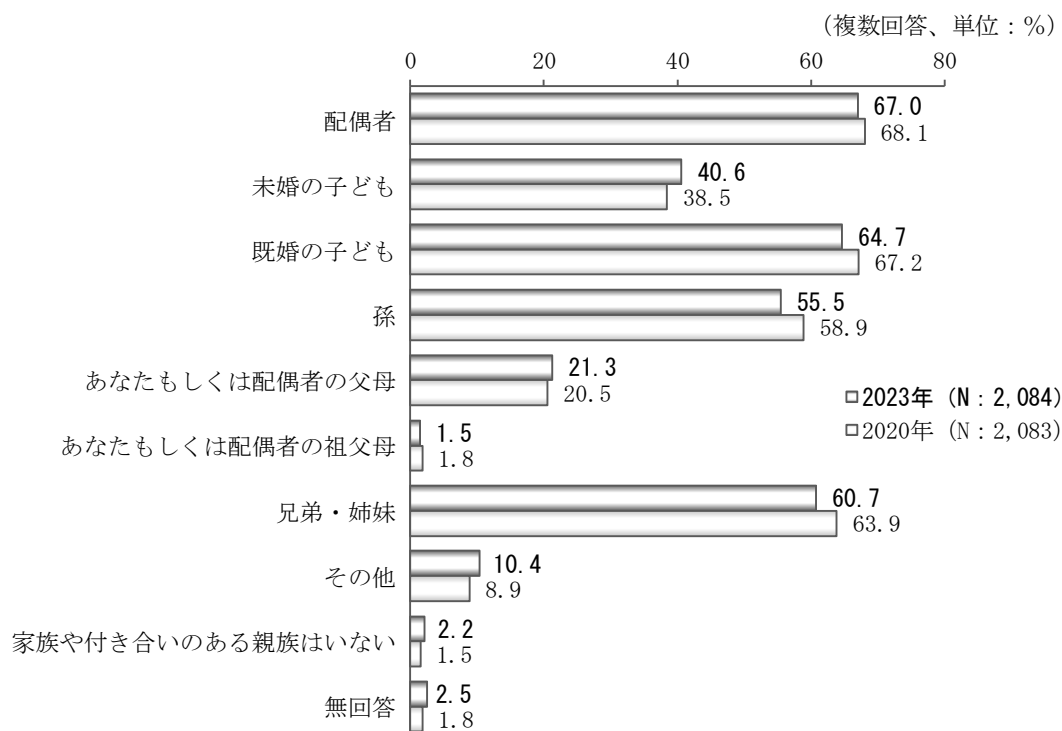
その結果、「配偶者」(67.0%)、「既婚の子ども」(64.7%)、「兄弟・姉妹」(60.7%)が6割台で高くなっており、次いで「孫」が55.5%となっている。「家族や付き合いのある親族はいない」は2.2%にとどまっている。

ちなみに、「未婚の子ども」の平均は1.4人、「既婚の子ども」は1.8人、「孫」の平均は3.2人となっている。

前回と比較すると、「孫」は3.4ポイント、「兄弟・姉妹」は3.2ポイント、いずれも減少している。

(図表Ⅲ-7)

<図表 Ⅲ-7> 家族および付き合いのある親族



	2023年	2020年
未婚の子ども 平均 (人)	1.4	1.4
既婚の子ども 平均 (人)	1.8	1.8
孫 平均 (人)	3.2	3.1

性別にみると、「配偶者」「あなたもしくは配偶者の父母」は、男性の方が女性を上回っている。「既婚の子ども」「孫」は、女性の方が男性より高くなっている。また、「家族や付き合いのある親族はいない」は女性より男性で高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「既婚の子ども」は75～84歳の層と90歳以上で、「孫」は70～84歳の層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-8)

<図表 Ⅲ-8> 家族および付き合いのある親族〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	母はあ配な偶た者のし父く	父はあ母配な偶た者のし祖く	兄弟・姉妹
全 体		2,084	67.0	40.6	64.7	55.5	21.3	1.5	60.7
性別	男 性	996	76.7	41.9	59.2▲	48.6▲	25.0	2.0	58.8
	女 性	1,088	58.1▲	39.5	69.7	61.9	17.9▲	1.0	62.5
本人年齢別	60～64歳	380	73.9	56.3	49.2▲	37.4▲	56.6	3.4	71.1
	65～69歳	400	72.3	50.3	61.8	50.8▲	33.5	3.8	67.8
	70～74歳	463	72.6	38.9	66.1	60.3	15.1▲	0.4▲	64.1
	75～79歳	369	67.5	32.5▲	71.5	63.4	4.6▲	-	56.4
	80～84歳	273	59.7▲	31.1▲	72.5	64.8	2.9▲	0.4	52.0▲
	85～89歳	141	45.4▲	24.1▲	68.1	62.4	-	-	44.0▲
	90歳以上	58	24.1▲	22.4▲	86.2	58.6	-	-	27.6▲

		N	その他	はい家族なあやいる付き合い親き族合	無回答	未婚平均の(子ども)	既婚平均の(子ども)	孫平均(人)
全 体		2,084	10.4	2.2	2.5	1.4	1.8	3.2
性別	男 性	996	6.9▲	3.1	3.0	1.5	1.8	3.2
	女 性	1,088	13.6	1.3▲	2.1	1.4	1.8	3.3
本人年齢別	60～64歳	380	13.7	2.1	1.3	1.6	1.7▲	2.6▲
	65～69歳	400	11.3	3.0	1.5	1.4	1.7▲	3.0
	70～74歳	463	8.2	2.4	2.6	1.3	2.0	3.5
	75～79歳	369	8.7	1.1	3.8	1.2▲	1.9	3.4
	80～84歳	273	11.0	1.8	2.6	1.3	1.9	3.4
	85～89歳	141	9.9	2.8	3.5	1.3	1.8	3.2
	90歳以上	58	10.3	1.7	6.9	1.7	1.6	3.5

②同居家族以外の家族および付き合いのある親族

前述の同居している家族と、家族および付き合いのある親族の回答結果から、以下のように「同居家族以外の家族および付き合いのある親族」を設定した。

【同居家族以外の家族および付き合いのある親族】

※同居家族の質問で該当せず（同居していない）、家族および付き合いのある親族の質問で該当の回答結果から、以下を作成

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 配偶者 | 6 あなたもしくは配偶者の祖父母 |
| 2 未婚の子ども | 7 兄弟・姉妹 |
| 3 既婚の子ども | 8 その他 |
| 4 孫 | 9 同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり |
| 5 あなたもしくは配偶者の父母 | 10 同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし |

その結果、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は合わせて 83.2%を占めている。具体的な同居していない家族や親族としては、「兄弟・姉妹」が 58.3%と最も多く、次いで「既婚の子ども」が 56.9%、「孫」が 49.7%となっている。

一方、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は 13.8%となっている。

前回と比較すると、「未婚の子ども」が 3.1 ポイント増加し、「配偶者」が 1.0 ポイント、「兄弟・姉妹」が 3.1 ポイント、いずれも減少している。（図表Ⅲ-9）

<図表 Ⅲ-9> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族

（複数回答、単位：％）

	N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父母	あなたもしくは祖父母	兄弟・姉妹	その他	同居家族あり	同居家族なし	無回答
										親族付き合いあり	親族付き合いなし	
2023年	2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8	83.2	13.8	3.0
2020年	2,083	2.4	15.3	59.0	51.6	14.7	1.3	61.4	6.3	84.2	13.3	2.5

性別にみると、「既婚の子ども」「孫」「兄弟・姉妹」は男性より女性の方が高く、「あなたもしくは配偶者の父母」は男性の方が女性より高くなっている。「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。「既婚の子ども」は80～84歳で、「孫」は70～84歳の層でそれぞれ高く、60～64歳でいずれも低くなっている。「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は85～89歳で高く、60～64歳で低くなっている。(図表Ⅲ-10)

<図表 Ⅲ-10> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	配あ 偶な 者た のも し父 母く は	配あ 偶な 者た のも し祖 父く 母は	兄 弟・ 姉妹	そ の 他	の 家 あ 居 る ・ 家 族 居 る ・ 家 族 付 き あ い の 親 族 な し
全	体		2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8
性 別	男 性	996	1.4	19.1	53.4▲	44.1▲	17.7	1.3	56.1▲	5.2▲	79.9▲
	女 性	1,088	1.5	17.7	60.0	54.9	12.6▲	0.7	60.4	10.1	86.2
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	2.9	29.5	45.0▲	34.5▲	39.2	1.8	68.2	12.4	89.7
	65～69歳	400	1.3	25.3	55.5	46.0	25.3	3.0	64.0	9.3	85.8
	70～74歳	463	1.5	17.1	60.0	54.0	9.7▲	0.2	62.0	6.5	84.9
	75～79歳	369	1.4	10.3▲	61.0	56.4	3.5▲	-	54.2	6.2	79.9
	80～84歳	273	0.4	12.8▲	63.4	56.8	1.8▲	0.4	50.9▲	7.0	79.9
	85～89歳	141	0.7	8.5▲	56.0	56.7	-	-	41.8▲	3.5	71.6▲
	90歳以上	58	-	10.3	63.8	48.3	-	-	27.6▲	1.7	74.1

		N	の 家 あ 居 る ・ 家 族 居 る ・ 家 族 付 き あ い の 親 族 な し	無 回 答
全	体		2,084	13.8
性 別	男 性	996	16.7	3.4
	女 性	1,088	11.2▲	2.6
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	8.9▲	1.3▲
	65～69歳	400	12.3	2.0
	70～74歳	463	11.9	3.2
	75～79歳	369	16.0	4.1
	80～84歳	273	16.8	3.3
	85～89歳	141	24.8	3.5
	90歳以上	58	17.2	8.6

未既婚別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は既婚（配偶者あり）層で高くなっている。なお、「未婚の子ども」「あなたもしくは配偶者の父母」「兄弟・姉妹」は、既婚（離別・死別）層で低くなっている。

一方、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は未婚層で36.8%と高くなっている。（図表Ⅲ-11）

<図表 Ⅲ-11> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	あなたもしくは配偶者の父母は	あなたもしくは配偶者の祖父母は	兄弟・姉妹	その他	同居家族以外にありの親族	
全体			2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8	83.2
未既婚別	未婚	117	-	2.6▲	1.7▲	0.9▲	4.3▲	-	47.0▲	19.7	60.7▲	
	既婚（配偶者あり）	1,450	2.1	20.8	62.0	54.6	19.7	1.3	61.7	7.4	85.7	
	既婚（離別・死別）	508	-	15.4▲	55.5	47.4	4.5▲	0.4	51.8▲	6.1	81.7	
		N	同居家族以外にありの親族	無回答								
全体			2,084	13.8	3.0							
未既婚別	未婚	117	36.8	2.6								
	既婚（配偶者あり）	1,450	11.6▲	2.7								
	既婚（離別・死別）	508	15.2	3.1								

家族形態別にみると、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族あり」は、夫婦のみ、夫婦と子のみの層で高くなっている。また、「あなたもしくは配偶者の父母」「あなたもしくは配偶者の祖父母」「兄弟・姉妹」は2世代世帯の層で高くなっている。

一方、「同居家族以外の家族・付き合いのある親族なし」は、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。（図表Ⅲ-12）

<図表 Ⅲ-12> 同居家族以外の家族および付き合いのある親族〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	配偶者	未婚の子ども	既婚の子ども	孫	配あなたも父しくは	配あなたも祖しくは	兄弟・姉妹	その他	の同居家族あり以外の
全体		2,084	1.4	18.4	56.9	49.7	15.0	1.0	58.3	7.8	83.2
家族形態別	単身	347	3.7	16.1	49.3▲	40.9▲	4.0▲	0.3	56.2	11.2	84.1
	夫婦のみ	785	-	24.2	74.1	65.6	19.0	1.1	61.1	8.2	88.9
	2世代世帯	423	0.2▲	18.2	48.0▲	41.1▲	24.1	2.4	68.1	7.3	87.2
	夫婦と子のみの	351	-	16.0	47.0▲	40.2▲	29.1	2.0	67.5	7.1	87.5
	親と自分（夫婦）のみの	72	1.4	29.2	52.8	45.8	-	4.2	70.8	8.3	86.1
	3世代世帯	196	0.5	13.3	43.9▲	44.9	10.2▲	-	62.2	5.1	78.6
	自分（夫婦）と子と孫	159	0.6	8.8▲	40.3▲	44.0	12.6	-	57.2	4.4	74.2▲
	親と自分（夫婦）と子の	37	-	32.4	59.5	48.6	-	-	83.8	8.1	97.3
その他	298	5.0	11.4▲	48.0▲	39.3▲	9.4▲	0.3	44.0▲	6.0	74.2▲	

		N	の同居家族あり以外の	無回答
全体		2,084	13.8	3.0
家族形態別	単身	347	13.0	2.9
	夫婦のみ	785	10.2▲	0.9▲
	2世代世帯	423	11.8	0.9▲
	夫婦と子のみの	351	12.0	0.6▲
	親と自分（夫婦）のみの	72	11.1	2.8
	3世代世帯	196	20.9	0.5▲
	自分（夫婦）と子と孫	159	25.2	0.6
	親と自分（夫婦）と子の	37	2.7▲	-
その他	298	24.2	1.7	

(3) 社会貢献活動の実施状況と実施意向

社会貢献活動の実施の有無、および実施意向を捉えるため、以下のように尋ねた。

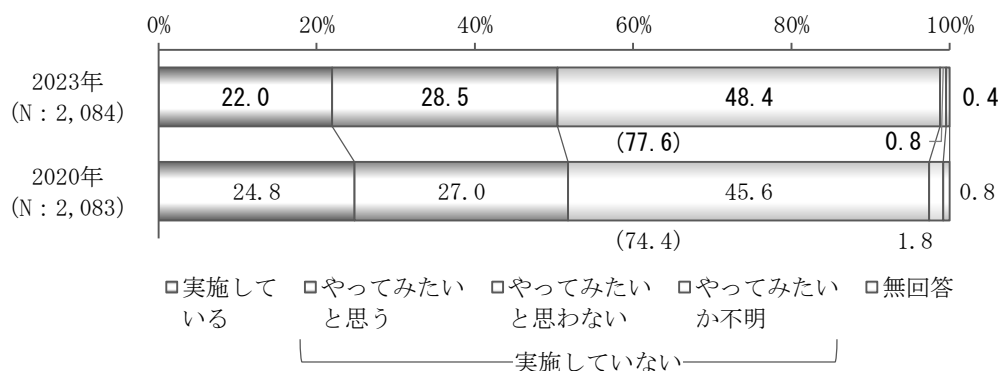
あなたは過去1年間にボランティアのような社会貢献活動をしましたか。
 1 はい 2 いいえ
 (前問で「いいえ」と答えた方へ) できることがあれば今後ボランティアのような社会貢献活動をやってみたい
 と思いますか。
 1 やってみたいと思う 2 やってみたいと思わない

その結果、社会貢献活動を「実施している」は22.0%で、「実施していない」は77.6%となっている。

実施していない人のうちでは、「やってみたいと思わない」が48.4%で、「やってみたいと思う」の28.5%を上回っている。

前回と比較すると、「実施している」が2.8ポイント減少し、「実施していない」が3.2ポイント増加している。(図表Ⅲ-13)

<図表 Ⅲ-13> 社会貢献活動の実施状況と実施意向



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「実施している」は75～79歳で高く、85歳以上の層で低くなっている。「やってみたいと思う」は、低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-14)

<図表 Ⅲ-14> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔性別・年齢別〕

(単位: %)

		N	実施している	実施していない	やってみたいと思う	やってみたいと思わない	やってみたいと思わない	無回答
全体		2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4
性別	男性	996	21.2	78.3	28.1	49.5	0.7	0.5
	女性	1,088	22.7	76.9	28.8	47.3	0.8	0.4
本人年齢別	60～64歳	380	19.5	80.3	37.1	42.6▲	0.5	0.3
	65～69歳	400	23.0	77.0	34.5	41.8▲	0.8	-
	70～74歳	463	24.4	74.9	32.0	43.0▲	-	0.6
	75～79歳	369	26.0	73.4▲	21.1▲	51.8	0.5	0.5
	80～84歳	273	21.6	78.0	19.8▲	56.4	1.8	0.4
	85～89歳	141	14.2▲	84.4	16.3▲	66.0	2.1	1.4
	90歳以上	58	6.9▲	93.1	19.0	72.4	1.7	-

本人の現在の職業別にみると、「やってみたいと思う」は、民間企業被用者と非正規社員で高く、無職で低くなっている。(図表Ⅲ-15)

<図表 Ⅲ-15> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔本人職業（現在）別〕

(単位：%)

	N	実施している	実施していない	思	思	不	無回答	
				やう	や	や		
				う	わ	明		
				つ	つ	つ		
				て	な	て		
				み	い	み		
				た	た	た		
				い	い	い		
				と	と	か		
全	2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4	
本人職業 (現在) 別	自 営 者	247	24.3	74.9	32.4	42.5▲	-	0.8
	農 林 漁 業	29	24.1	75.9	37.9	37.9	-	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	174	23.0	75.9	32.2	43.7	-	1.1
	自 由 業	44	29.5	70.5	29.5	40.9	-	-
	常 雇 被 用 者	212	20.8	79.2	41.5	36.8▲	0.9	-
	公 務 員	38	21.1	78.9	42.1	34.2	2.6	-
	民 間 企 業 被 用 者	174	20.7	79.3	41.4	37.4▲	0.6	-
	非 正 規 社 員	293	21.2	78.2	38.6	38.9▲	0.7	0.7
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	48	14.6	83.3	45.8	37.5	-	2.1
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	245	22.4	77.1	37.1	39.2▲	0.8	0.4
無 職	1,285	21.6	78.0	23.5▲	53.5	0.9	0.4	
そ の 他	31	32.3	67.7	25.8	41.9	-	-	

未既婚別にみると、「実施している」および「やってみたいと思う」は、既婚（配偶者あり）層で高くなっている。「やってみたいと思わない」は、既婚（離別・死別）層で高くなっている。(図表Ⅲ-16)

<図表 Ⅲ-16> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔未既婚別〕

(単位：%)

	N	実施している	実施していない	思	思	不	無回答	
				や	や	や		
				う	わ	明		
				つ	つ	つ		
				て	な	て		
				み	い	み		
				た	た	た		
				い	い	い		
				と	と	か		
全	2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4	
未既婚別	未 婚	117	16.2	83.8	26.5	56.4	0.9	-
	既 婚 (配偶者あり)	1,450	23.5	75.9▲	30.3	45.0▲	0.6	0.6
	既 婚 (離別・死別)	508	19.3	80.5	23.8▲	55.5	1.2	0.2

家族形態別にみると、「やってみたいと思わない」は、単身層で高くなっている。(図表Ⅲ-17)

<図表 Ⅲ-17> 社会貢献活動の実施状況と実施意向〔家族形態別〕

(単位：%)

		N	実施している	実施していない	やうつてみたいと	やわつてみたいと	や明てみたいか	無回答
全 体		2,084	22.0	77.6	28.5	48.4	0.8	0.4
家族形態別	単 身	347	19.3	80.1	23.9▲	55.3	0.9	0.6
	夫 婦 の み	785	23.6	76.1	30.6	45.0▲	0.5	0.4
	2 世 代 世 帯	423	22.9	77.1	29.6	47.0	0.5	-
	夫 婦 と 子 の み	351	22.5	77.5	29.1	47.9	0.6	-
	親と自分(夫婦)のみ	72	25.0	75.0	31.9	43.1	-	-
	3 世 代 世 帯	196	24.0	75.0	28.1	46.4	0.5	1.0
	自 分 (夫 婦) と 子 と 孫	159	24.5	74.2	27.7	45.9	0.6	1.3
	親と自分(夫婦)と子	37	21.6	78.4	29.7	48.6	-	-
そ の 他	298	17.1▲	82.2	27.5	52.7	2.0	0.7	

(4) 生活で困った際の相談相手

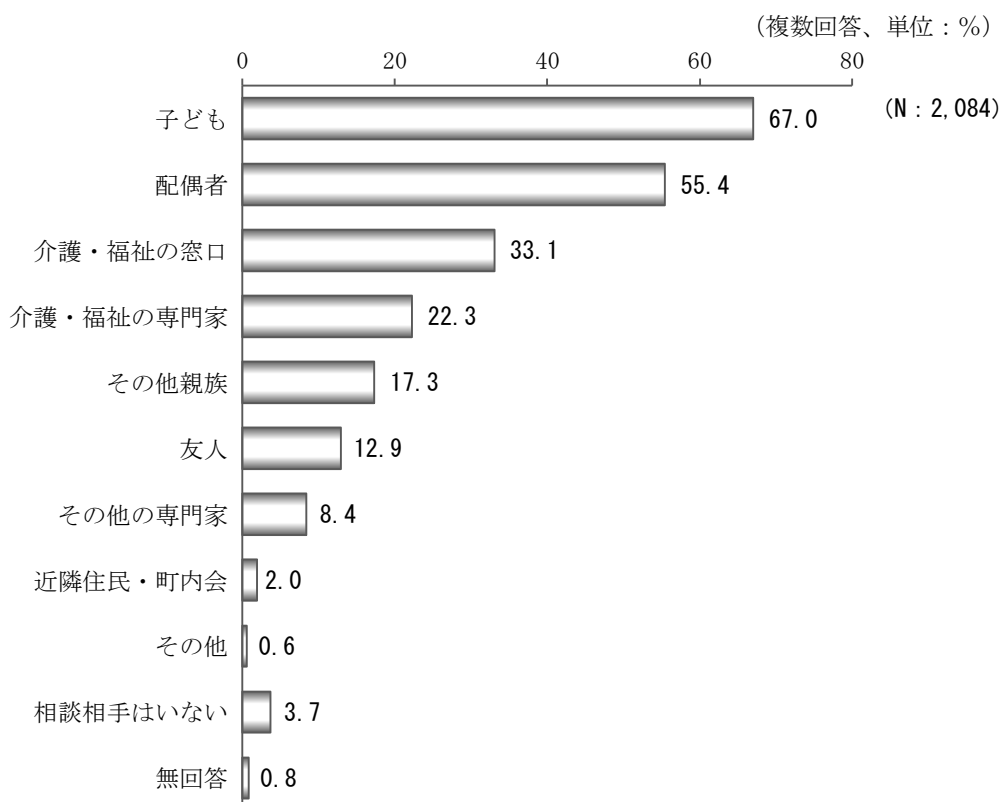
生活で困った際の相談相手を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは将来、生活で困ったことがある際にどのような人に相談をしますか。この中からすべてお答えください。
(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 その他親族
- 4 近隣住民・町内会
- 5 友人
- 6 介護・福祉の窓口（役所（福祉相談窓口）、社会福祉協議会、地域包括支援センター、NPO法人）…………… 以下「介護・福祉の窓口」
- 7 介護・福祉の専門家（ケア・マネジャー（介護支援相談員）、社会福祉士、民生委員、福祉委員等）…………… 以下「介護・福祉の専門家」
- 8 その他の専門家（弁護士、司法書士、会計士、税理士、ファイナンシャルプランナー等）…………… 以下「その他の専門家」
- 9 その他
- 10 相談相手はいない

その結果、「子ども」が67.0%で最も多く、次いで「配偶者」が55.4%となっている。以下、「介護・福祉の窓口」が33.1%、「介護・福祉の専門家」が22.3%の順となっている。「相談相手はいない」は3.7%にとどまっている。（図表Ⅲ-18）

<図表 Ⅲ-18> 生活で困った際の相談相手



性別にみると、「配偶者」「その他の専門家」は、男性の方が女性を上回っている。「子ども」「介護・福祉の窓口」「介護・福祉の専門家」「友人」は女性の方が男性より高くなっている。また、「相談相手はいない」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「子ども」は高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられ、「配偶者」「友人」は低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-19)

<図表 Ⅲ-19> 生活で困った際の相談相手〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
性別	男性	996	57.4▲	63.7	29.7▲	19.7▲	16.5	11.2▲
	女性	1,088	75.7	47.9▲	36.1	24.6	18.1	14.4
本人年齢別	60～64歳	380	57.4▲	63.4	31.8	19.7	22.1	19.2
	65～69歳	400	61.5▲	61.3	37.0	22.3	21.5	17.8
	70～74歳	463	67.0	62.0	34.3	22.0	18.6	11.7
	75～79歳	369	72.9	54.5	34.7	23.0	12.5▲	10.8
	80～84歳	273	71.4	44.7▲	29.3	23.1	12.5▲	7.3▲
	85～89歳	141	75.9	34.0▲	29.1	25.5	13.5	7.8
	90歳以上	58	87.9	19.0▲	20.7▲	24.1	10.3	-

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
性別	男性	996	9.7	1.9	0.8	5.5	1.0
	女性	1,088	7.2▲	2.0	0.5	2.1▲	0.6
本人年齢別	60～64歳	380	10.8	2.4	1.3	2.6	0.3
	65～69歳	400	11.0	2.8	0.8	3.5	1.3
	70～74歳	463	8.0	1.9	0.2	3.9	1.1
	75～79歳	369	6.8	1.6	0.3	4.3	0.5
	80～84歳	273	7.3	1.1	0.4	4.8	0.7
	85～89歳	141	4.3	2.1	-	4.3	1.4
	90歳以上	58	3.4	-	3.4	1.7	-

未既婚別にみると、「子ども」は既婚（離別・死別）層で高くなっている。「その他親族」「友人」「その他の専門家」は、未婚層で高くなっている。また、「相談相手はいない」は、未婚層と既婚（離別・死別）層で高く、既婚（配偶者あり）層で低くなっている。（図表Ⅲ-20）

<図表 Ⅲ-20> 生活で困った際の相談相手〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
未既婚別	未婚	117	3.4▲	-	41.0	29.1	41.0	27.4
	既婚（配偶者あり）	1,450	68.1	79.7	33.0	22.3	15.1▲	11.5▲
	既婚（離別・死別）	508	78.0	-	31.5	20.5	18.3	13.4

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
未既婚別	未婚	117	17.9	3.4	0.9	7.7	1.7
	既婚（配偶者あり）	1,450	8.6	2.0	0.4	2.8▲	0.8
	既婚（離別・死別）	508	5.9▲	1.6	1.2	5.3	0.6

家族形態別にみると、「子ども」は、夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。「配偶者」は、夫婦のみ、夫婦と子のみの層で高くなっている。「その他親族」は単身層で、「友人」は単身層と親と自分（夫婦）のみの層で、それぞれ高くなっている。また、「相談相手はいない」は、単身層で高くなっている。（図表Ⅲ-21）

＜図表 Ⅲ-21＞ 生活で困った際の相談相手〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
家族形態別	単身	347	54.2▲	3.5▲	35.2	23.1	21.6	17.9
	夫婦のみ	785	65.9	78.7	35.2	23.8	13.9▲	12.1
	2世代世帯	423	70.4	79.7	34.3	20.3	19.1	12.5
	夫婦と子のみ	351	75.5	82.9	35.0	19.4	18.5	10.3
	親と自分（夫婦）のみ	72	45.8▲	63.9	30.6	25.0	22.2	23.6
	3世代世帯	196	79.1	54.1	21.4▲	18.9	15.8	8.7
	自分（夫婦）と子と孫	159	81.1	47.2▲	20.1▲	16.4	17.0	8.8
	親と自分（夫婦）と子	37	70.3	83.8	27.0	29.7	10.8	8.1
その他	298	72.8	21.5▲	32.2	21.8	20.5	13.1	

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
家族形態別	単身	347	8.6	2.9	1.4	8.1	0.9
	夫婦のみ	785	8.0	1.9	0.4	3.4	0.9
	2世代世帯	423	10.9	2.1	0.5	1.2▲	0.5
	夫婦と子のみ	351	11.4	1.7	0.6	1.1▲	0.3
	親と自分（夫婦）のみ	72	8.3	4.2	-	1.4	1.4
	3世代世帯	196	6.1	1.5	-	4.1	0.5
	自分（夫婦）と子と孫	159	5.0	0.6	-	5.0	-
	親と自分（夫婦）と子	37	10.8	5.4	-	-	2.7
その他	298	7.0	1.3	1.0	2.7	1.3	

本人年収別にみると、「子ども」は100万円未満層で高く、「配偶者」は500～1,000万円未満層で高くなっている。「介護・福祉の窓口」「介護・福祉の専門家」「その他親族」「友人」は、100～500万円未満層で、「その他の専門家」は500～1,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-22)

<図表 Ⅲ-22> 生活で困った際の相談相手〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
本人年収別	収入はない	261	68.2	53.3	32.2	23.8	17.2	10.7
	100万円未満	458	75.8	57.9	33.4	19.2	13.8▲	12.4
	100～500万円未満	1,067	64.7▲	53.6	35.4	24.5	19.5	14.3
	500～1,000万円未満	155	63.2	67.1	24.5▲	14.8▲	16.8	11.6
	1,000～2,000万円未満	28	71.4	50.0	39.3	25.0	17.9	21.4
	2,000万円以上	9	44.4	55.6	-	-	-	11.1

		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8
本人年収別	収入はない	261	7.7	3.1	-	2.7	1.5
	100万円未満	458	5.0▲	1.7	0.2	3.1	0.4
	100～500万円未満	1,067	8.6	2.2	0.7	3.7	0.8
	500～1,000万円未満	155	18.7	1.3	1.3	3.9	-
	1,000～2,000万円未満	28	3.6	-	-	7.1	-
	2,000万円以上	9	22.2	-	11.1	11.1	-

世帯保有金融資産別にみると、「配偶者」「介護・福祉の専門家」「その他親族」「その他の専門家」は、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。「介護・福祉の窓口」は1,000～2,000万円未満層で高くなっている。また、「相談相手はいない」は、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅲ-23)

<図表 Ⅲ-23> 生活で困った際の相談相手〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	介護・福祉の窓口	介護・福祉の専門家	その他親族	友人
全 体		2,084	67.0	55.4	33.1	22.3	17.3	12.9
金融資産別 世帯保有	100万円未満	204	57.4▲	44.1▲	34.3	20.1	14.2	8.8
	100～500万円未満	265	66.8	46.0▲	32.8	21.1	15.1	12.8
	500～1,000万円未満	205	70.7	56.6	38.0	21.5	17.1	15.6
	1,000～2,000万円未満	280	68.2	66.4	38.2	22.5	20.0	15.7
	2,000万円以上	399	66.4	66.4	35.3	26.3	20.8	15.8
		N	その他の専門家	近隣住民・町内会	その他	相談相手はいない	無回答	
全 体		2,084	8.4	2.0	0.6	3.7	0.8	
金融資産別 世帯保有	100万円未満	204	6.9	0.5	0.5	6.9	2.0	
	100～500万円未満	265	6.0	1.1	0.4	5.3	1.5	
	500～1,000万円未満	205	6.3	3.9	0.5	2.9	0.5	
	1,000～2,000万円未満	280	10.0	3.2	0.4	1.1▲	0.4	
	2,000万円以上	399	14.3	1.8	0.8	3.0	0.3	

(5) 相続・財産管理

①相続準備の有無

相続準備の有無を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたはご自身に万一があった場合のための相続準備をしていますか。この中からすべてお答えください。

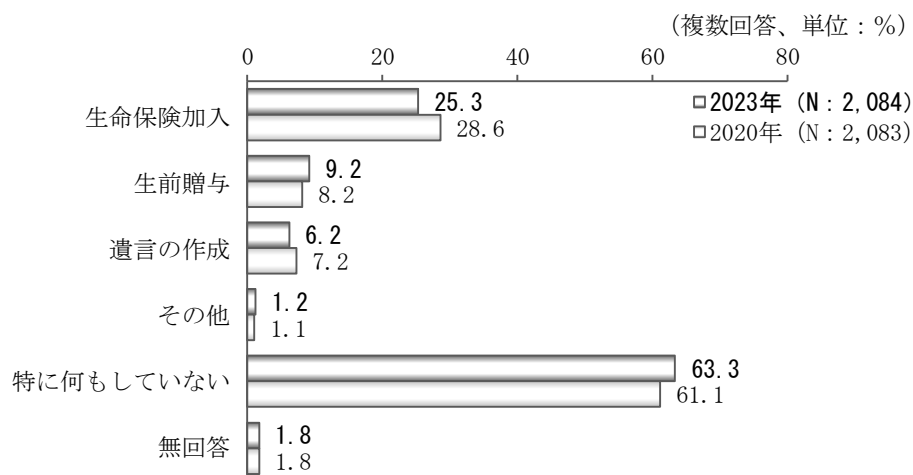
(○はいくつでも)

- 1 遺言の作成
- 2 生前贈与
- 3 生命保険加入
- 4 その他
- 5 特に何もしていない

その結果、相続準備については、「特に何もしていない」が63.3%を占めている。具体的な相続準備としては、「生命保険加入」が25.3%と最も多く、「生前贈与」が9.2%、「遺言の作成」が6.2%の順となっている。

前回と比較すると、「生命保険加入」が3.3ポイント減少している。(図表Ⅲ-24)

<図表 Ⅲ-24> 相続準備の有無



性別にみると、特に差がみられない。

年齢別にみると、「生命保険加入」は90歳以上で、「遺言の作成」は60～69歳の層で、それぞれ低くなっている。「生前贈与」は60～69歳の層で低く、75～79歳で高くなっている。また、「特に何もしていない」は、60～64歳で高くなっている。(図表Ⅲ-25)

<図表 Ⅲ-25> 相続準備の有無〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	い 特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
性 別	男 性	996	24.3	10.4	6.6	1.2	64.1	1.3
	女 性	1,088	26.2	8.1	5.8	1.3	62.7	2.2
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	25.8	6.1▲	3.2▲	1.6	67.9	0.8
	65～69歳	400	28.3	5.8▲	3.3▲	1.3	66.5	0.3▲
	70～74歳	463	26.6	11.2	7.3	0.9	62.0	1.3
	75～79歳	369	24.1	12.7	7.0	1.4	61.0	3.3
	80～84歳	273	23.4	11.0	8.8	1.5	60.1	2.6
	85～89歳	141	22.7	8.5	9.9	1.4	58.2	4.3
	90歳以上	58	13.8▲	8.6	10.3	-	65.5	3.4

未既婚別にみると、「特に何もしていない」は未婚層で80.3%と最も高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。(図表Ⅲ-26)

<図表 Ⅲ-26> 相続準備の有無〔未既婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	そ の 他	い 特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
未 既 婚 別	未 婚	117	15.4▲	3.4▲	6.0	-	80.3	-
	既婚（配偶者あり）	1,450	25.7	9.0	5.9	1.4	63.4	1.4
	既婚（離別・死別）	508	26.4	11.2	7.3	1.2	59.4▲	2.8

家族形態別にみると、「生命保険加入」は夫婦と子のみの層で、「生前贈与」は自分（夫婦）と子と孫の層で、「遺言の作成」は単身層で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-27）

<図表 Ⅲ-27> 相続準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その 他	い特 ないに い何も もして	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
家族 形態 別	単 身	347	22.2	9.2	8.9	1.4	63.7	1.7
	夫 婦 の み	785	23.9	9.4	6.2	1.5	64.8	1.1
	2 世 代 世 帯	423	29.3	6.9	5.0	1.2	62.9	0.5▲
	夫 婦 と 子 の み	351	30.8	8.0	5.1	1.4	60.7	0.6
	親と自分（夫婦）のみ	72	22.2	1.4▲	4.2	-	73.6	-
	3 世 代 世 帯	196	24.5	13.3	3.6	-	61.7	5.1
	自分（夫婦）と子と孫	159	25.8	14.5	3.8	-	57.9	6.3
親と自分（夫婦）と子	37	18.9	8.1	2.7	-	78.4	-	
そ の 他	298	27.5	10.1	6.4	1.3	60.7	2.3	

本人年収別にみると、「生前贈与」「遺言の作成」は、500～1,000万円未満層で高くなっている。「特に何もしていない」は、100万円層で68.8%と最も高く、高年収層ほど低くなっている。（図表Ⅲ-28）

<図表 Ⅲ-28> 相続準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保険 加入	生前 贈与	遺言 の 作成	その 他	い特 ないに い何も もして	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	21.8	8.4	5.7	0.8	65.5	3.4
	100 万 円 未 満	458	22.3	5.9▲	4.1▲	1.3	68.8	2.0
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	26.9	9.0	6.3	1.1	62.2	1.3
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	30.3	16.8	11.6	1.3	56.1	0.6
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	46.4	17.9	14.3	7.1	32.1▲	-
	2,000 万 円 以 上	9	33.3	66.7	11.1	-	11.1▲	11.1

世帯保有金融資産別にみると、「生命保険加入」「生前贈与」は、高資産層ほど高くなっている。「遺言の作成」は2,000万円以上層で高くなっている。一方、「特に何もしていない」は、100万円未満層で76.0%と高くなっている。(図表Ⅲ-29)

<図表 Ⅲ-29> 相続準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	生命 保 険 加 入	生 前 贈 与	遺 言 の 作 成	そ の 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	25.3	9.2	6.2	1.2	63.3	1.8
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	204	15.7▲	3.4▲	6.9	1.0	76.0	-
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	26.0	5.3▲	7.2	1.5	63.4	1.1
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	27.8	5.4▲	5.4	0.5	64.4	1.5
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	31.1	8.6	7.5	2.1	58.9	0.7
	2,000 万 円 以 上	399	32.1	22.1	8.8	2.3	49.9▲	0.5▲

②生前贈与の贈与先

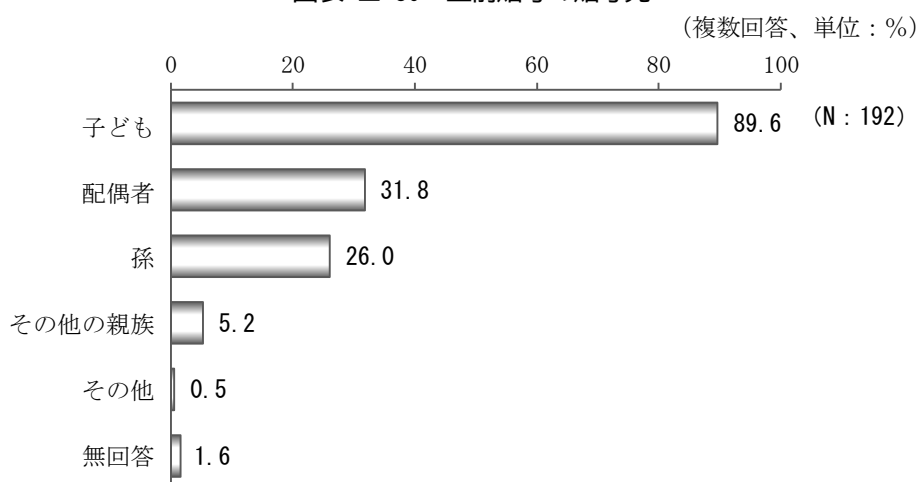
生前贈与の贈与先を捉えるため、以下のように尋ねた。

(前問で「生前贈与」と答えた方へ) その贈与先はどちらですか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 その他の親族
- 5 その他

その結果、「子ども」が89.6%と最も多く、次いで「配偶者」が31.8%、「孫」が26.0%の順となっている。(図表Ⅲ-30)

<図表 Ⅲ-30> 生前贈与の贈与先



性別にみると、「配偶者」は、男性の方が女性を大きく上回っている。「その他の親族」は、男性より女性が高くなっている。

年齢別にみると、特に差はみられない。(図表Ⅲ-31)

<図表 Ⅲ-31> 生前贈与の贈与先〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	孫	その他の親族	その他	無回答
全 体		192	89.6	31.8	26.0	5.2	0.5	1.6
性別	男 性	104	90.4	46.2	28.8	1.9▲	-	2.9
	女 性	88	88.6	14.8▲	22.7	9.1	1.1	-
本人年齢別	60～64歳	23	82.6	34.8	13.0	4.3	-	-
	65～69歳	23	91.3	39.1	30.4	4.3	-	-
	70～74歳	52	94.2	34.6	26.9	1.9	-	1.9
	75～79歳	47	85.1	36.2	31.9	10.6	2.1	2.1
	80～84歳	30	86.7	26.7	16.7	6.7	-	3.3
	85～89歳	12	100.0	8.3	50.0	-	-	-
	90歳以上	5	100.0	-	-	-	-	-

③判断能力低下時への準備の有無

判断能力低下時への準備について捉えるため、以下のように尋ねた。

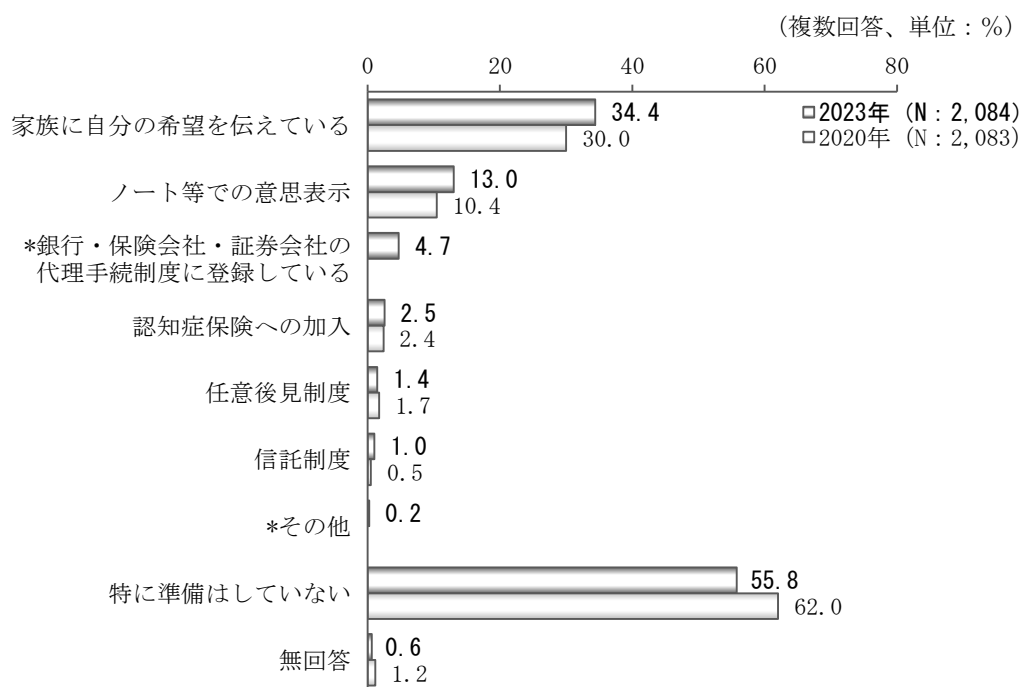
将来、判断能力が不十分になったときに備えてどのような準備をしていますか。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 ノート等での意思表示
- 2 信託制度
- 3 任意後見制度
- 4 家族に自分の希望を伝えている
- 5 認知症保険への加入
- 6 銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している
- 7 その他
- 8 特に準備はしていない

その結果、「特に準備はしていない」が55.8%を占めている。具体的な準備としては、「家族に自分の希望を伝えている」が34.4%と最も多く、次いで「ノート等での意思表示」が13.0%、「銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している」が4.7%となっている。

前回と比較すると、「家族に自分の希望を伝えている」が4.4ポイント、「ノート等での意思表示」が2.6ポイント、いずれも増加している。一方、「特に準備はしていない」は6.2ポイント減少している。(図表Ⅲ-32)

<図表 Ⅲ-32> 判断能力低下時への準備の有無



* 2023年調査から新たに追加している

性別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」「ノート等での意思表示」「認知症保険への加入」は、女性の方が男性を上回っている。「特に準備はしていない」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「家族に自分の希望を伝えている」は80～89歳の層で高く、60～69歳の層で低くなっている。「ノート等での意思表示」は75～79歳で高く、「銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している」は80～84歳で高く、いずれも60～64歳で低くなっている。「認知症保険への加入」「任意後見制度」は、65～69歳で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は60～64歳で高く、75～84歳の層で低くなっている。(図表Ⅲ-33)

<図表 Ⅲ-33> 判断能力低下時への準備の有無〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝えている	ノート等での意思表示	登録している銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
性別	男性	996	27.3▲	11.2▲	3.8	1.8▲	1.8	1.4	0.1	64.3	0.3
	女性	1,088	40.9	14.6	5.5	3.2	1.1	0.6	0.4	48.1▲	0.9
本人年齢別	60～64歳	380	23.9▲	7.9▲	1.6▲	1.8	1.8	1.3	0.3	71.1	-
	65～69歳	400	30.0▲	10.5	5.0	4.5	3.0	1.5	-	59.3	-
	70～74歳	463	36.3	13.2	4.5	2.2	1.3	0.2	0.4	54.0	0.4
	75～79歳	369	38.5	19.0	5.1	3.0	0.8	0.8	-	48.8▲	1.9
	80～84歳	273	41.0	16.5	7.7	1.1	0.7	1.5	-	46.5▲	1.5
	85～89歳	141	42.6	12.8	6.4	2.8	-	0.7	0.7	48.2	-
	90歳以上	58	41.4	8.6	3.4	-	-	1.7	1.7	53.4	-

未既婚別にみると、「信託制度」は、既婚（離別・死別）層で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は未婚層で高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。(図表Ⅲ-34)

<図表 Ⅲ-34> 判断能力低下時への準備の有無〔未既婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝えている	ノート等での意思表示	登録している銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
未既婚別	未婚	117	12.0▲	10.3	7.7	5.1	3.4	0.9	-	71.8	-
	既婚（配偶者あり）	1,450	34.9	12.8	4.7	2.3	1.3	0.8	0.2	56.3	0.5
	既婚（離別・死別）	508	37.8	14.2	3.9	2.8	1.4	1.8	0.4	50.8▲	1.2

家族形態別にみると、「ノート等での意思表示」は夫婦のみ層で高く、夫婦と子のみ、3世代世帯の層で低くなっている。「認知症保険への加入」は親と自分(夫婦)のみ、自分(夫婦)と子と孫の層で、「任意後見制度」は単身層で、それぞれ高くなっている。また、「特に準備はしていない」は夫婦と子のみ層で高く、夫婦のみ層で低くなっている。(図表Ⅲ-35)

<図表 Ⅲ-35> 判断能力低下時への準備の有無〔家族形態別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝える	ノート等での意思表示	登録している銀行・代理店・証券会社の手続・証券	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
家族形態別	単身	347	30.0	14.7	4.6	3.2	2.9	1.4	0.3	57.1	0.6
	夫婦のみ	785	36.9	16.2	5.0	2.4	1.1	0.8	0.1	53.0▲	0.6
	2世代世帯	423	28.1▲	8.5▲	5.0	2.4	0.7	0.9	0.5	64.8	-
	夫婦と子のみ	351	28.2▲	8.5▲	5.7	1.4	0.6	1.1	0.6	65.2	-
	親と自分(夫婦)のみ	72	27.8	8.3	1.4	6.9	1.4	-	-	62.5	-
	3世代世帯	196	37.2	8.2▲	4.6	4.1	1.5	-	-	55.1	1.0
	自分(夫婦)と子と孫	159	39.6	10.1	5.7	5.0	1.3	-	-	50.9	1.3
	親と自分(夫婦)と子	37	27.0	-	-	-	2.7	-	-	73.0	-
その他	298	39.3	12.4	3.7	1.7	1.3	1.7	0.3	51.0	0.7	

本人年収別にみると、「信託制度」は500～1,000万円未満層で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は100万円未満層で低くなっている。(図表Ⅲ-36)

<図表 Ⅲ-36> 判断能力低下時への準備の有無〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に自分の希望を伝える	ノート等での意思表示	登録している銀行・代理店・証券会社の手続・証券	認知症保険への加入	任意後見制度	信託制度	その他	特に準備はしていない	無回答
全体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
本人年収別	収入はない	261	35.2	12.3	3.1	0.8	0.8	-	0.4	56.7	0.8
	100万円未満	458	38.0	13.5	4.6	2.0	1.3	0.9	0.2	51.3▲	0.9
	100～500万円未満	1,067	33.3	13.9	5.0	3.1	1.4	0.9	0.3	57.1	0.4
	500～1,000万円未満	155	28.4	9.0	5.2	2.6	3.2	3.9	-	61.9	0.6
	1,000～2,000万円未満	28	39.3	14.3	3.6	10.7	3.6	3.6	-	50.0	-
	2,000万円以上	9	22.2	11.1	33.3	-	11.1	-	-	55.6	-

世帯保有金融資産別にみると、「銀行・保険会社・証券会社の代理手続制度に登録している」は、高資産層ほど高くなっている。「信託制度」は、1,000～2,000万円未満層で高くなっている。また、「特に準備はしていない」は、高資産層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-37)

<図表 Ⅲ-37> 判断能力低下時への準備の有無〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	え家族に 自分の希望を伝 えている	ノ ー ト 等 で の 意 思 表 示	登 録 し て い る 銀 行 ・ 保 險 会 社 ・ 証 券 会 社 の 代 理 手 続 制 度 に	認 知 症 保 険 へ の 加 入	任 意 後 見 制 度	信 託 制 度	そ の 他	特 に 準 備 は し て い な い	無 回 答
全 体		2,084	34.4	13.0	4.7	2.5	1.4	1.0	0.2	55.8	0.6
金 融 資 産 別	100万円未満	204	28.9	11.8	1.5▲	1.0	1.5	0.5	-	62.7	-
	100～500万円未満	265	35.1	14.0	4.5	2.6	0.8	0.4	0.4	56.2	-
	500～1,000万円未満	205	31.7	15.6	4.9	2.0	1.0	0.5	0.5	59.0	-
	1,000～2,000万円未満	280	36.8	12.9	6.4	2.9	2.1	2.5	0.4	53.6	0.7
	2,000万円以上	399	36.3	15.0	7.3	3.5	2.0	1.8	-	50.6▲	0.3

④判断能力低下時の相談相手

判断能力が不十分になったときの相談相手を捉えるため、以下のように尋ねた。

将来、判断能力が不十分になったときにどのような相談相手がありますか。この中からすべてお答えください。
(○はいくつでも)

1 配偶者	10 弁護士
2 子ども	11 司法書士
3 その他親族	12 社会福祉士
4 近隣住民・町内会	13 民生委員
5 友人	14 福祉委員
6 役所（福祉相談窓口）	15 ケア・マネジャー（介護支援相談員）
7 社会福祉協議会	16 その他
8 地域包括支援センター	17 相談相手はいない
9 NPO法人	

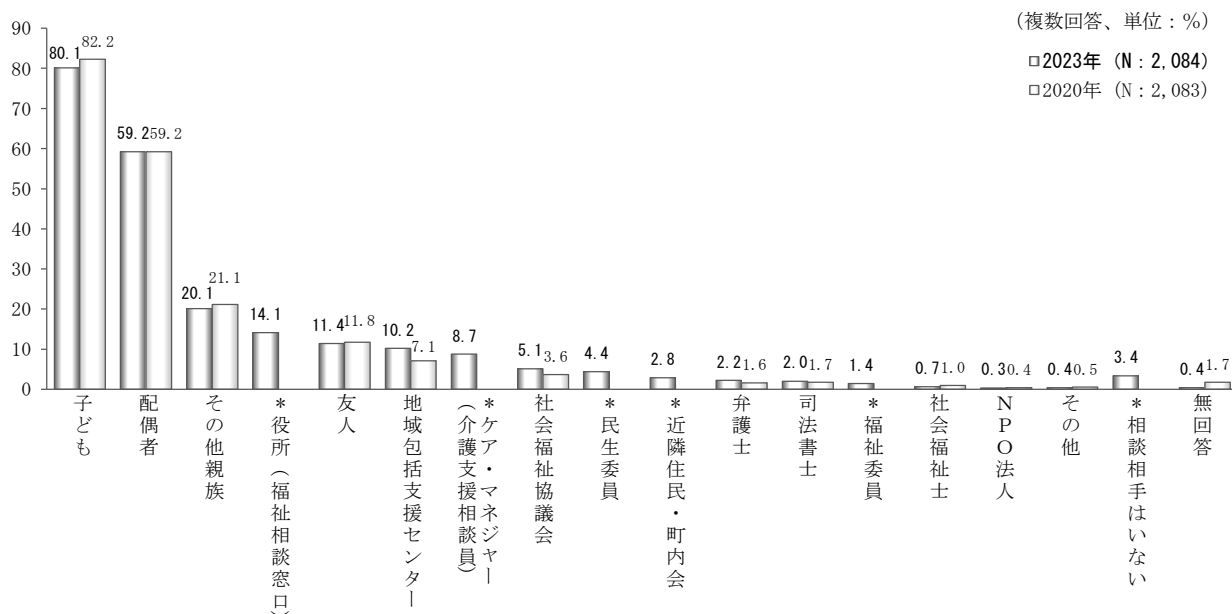
判断能力低下時の相談相手については、「子ども」が80.1%を占め、最も多くなっている。次いで、「配偶者」が59.2%、「その他親族」が20.1%と続いている。

組織、専門家の相談相手としては、「役所（福祉相談窓口）」が14.1%、「地域包括支援センター」が10.2%、「ケア・マネジャー（介護支援相談員）」が8.7%となっている。

また、「相談相手はいない」は3.4%にとどまっている。

前回と比較すると、「地域包括支援センター」が3.1ポイント、「社会福祉協議会」が1.5ポイント、いずれも増加している。（図表Ⅲ-38）

<図表 Ⅲ-38> 判断能力低下時の相談相手



* 2023年調査から新たに追加している

性別にみると、「配偶者」は、女性よりも男性の方が高くなっている。一方、「子ども」「友人」「地域包括支援センター」「ケア・マネジャー（介護支援相談員）」は、女性の方が男性を上回っている。また、「相談相手はいない」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「その他親族」「友人」は、高い年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。一方、「子ども」「ケア・マネジャー（介護支援相談員）」は、高い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。「役所（福祉相談窓口）」は65～69歳で、「民生委員」は70～74歳で、「福祉委員」は80～84歳で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-39）

<図表 Ⅲ-39> 判断能力低下時の相談相手〔性別・年齢別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 （福祉相談窓口）	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー （介護支援相談員）	社会福祉協議会	民生委員
全体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
性別	男性	996	73.7▲	70.7	18.4	14.1	9.3▲	8.0▲	7.3▲	5.7	4.4
	女性	1,088	85.9	48.7▲	21.7	14.2	13.2	12.2	10.0	4.5	4.3
本人年齢別	60～64歳	380	71.6▲	67.4	26.1	14.5	14.7	9.2	6.3	6.8	2.1▲
	65～69歳	400	74.3▲	63.8	23.0	18.5	15.5	11.0	6.8	4.5	1.8▲
	70～74歳	463	81.0	67.4	21.0	16.6	11.7	8.2	9.5	5.4	6.5
	75～79歳	369	84.8	57.7	16.8	8.9▲	10.6	11.1	8.1	5.4	5.4
	80～84歳	273	86.1	49.1▲	15.0▲	12.1	6.2▲	12.5	9.9	4.8	4.4
	85～89歳	141	87.2	36.9▲	14.9	11.3	5.7▲	12.8	14.2	2.1	7.1
90歳以上	58	93.1	20.7▲	12.1	10.3	1.7▲	5.2	17.2	1.7	6.9	
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
性別	男性	996	2.6	2.8	2.4	1.4	0.9	0.4	0.6	5.0	0.3
	女性	1,088	3.0	1.7	1.7	1.4	0.5	0.3	0.2	1.9▲	0.6
本人年齢別	60～64歳	380	1.8	1.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	4.5	-
	65～69歳	400	2.8	3.0	2.0	0.8	0.8	-	0.8	5.0	0.3
	70～74歳	463	3.9	2.6	2.2	1.5	0.6	0.4	0.2	2.6	-
	75～79歳	369	2.7	2.2	2.4	1.6	1.1	0.5	-	2.7	1.4
	80～84歳	273	2.9	1.8	2.6	2.9	0.4	-	-	2.6	1.1
	85～89歳	141	3.5	0.7	2.8	1.4	-	-	-	3.5	-
90歳以上	58	-	1.7	1.7	-	-	-	1.7	-	-	

未既婚別にみると、「子ども」は既婚（配偶者あり）層と既婚（離別・死別）層で高くなっている。「その他親族」「役所（福祉相談窓口）」「友人」「福祉委員」は、未婚層で高くなっている。また、「相談相手はいない」は未婚層で高く、既婚（配偶者あり）層で低くなっている。（図表Ⅲ-40）

<図表 Ⅲ-40> 判断能力低下時の相談相手〔未既婚別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所（福祉相談窓口）	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー（介護支援相談員）	社会福祉協議会	民生委員
全	体	2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
未既婚別	未婚	117	4.3▲	-	56.4	26.5	22.2	12.0	9.4	6.8	3.4
	既婚（配偶者あり）	1,450	85.0	85.1	16.6▲	13.2	10.8	10.4	8.3	5.2	4.3
	既婚（離別・死別）	508	83.5	-	21.7	14.0	10.6	9.3	9.6	4.1	4.5
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全	体	2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
未既婚別	未婚	117	3.4	4.3	2.6	4.3	-	0.9	2.6	16.2	0.9
	既婚（配偶者あり）	1,450	3.0	2.3	2.0	1.0▲	0.7	0.2	0.1▲	1.9▲	0.2▲
	既婚（離別・死別）	508	2.2	1.6	2.0	2.0	0.8	0.6	0.8	4.5	1.0

家族形態別にみると、「子ども」は、夫婦のみ、夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。「配偶者」は、夫婦のみ、夫婦と子のみ層で高くなっている。「その他親族」「友人」は単身、親と自分（夫婦）のみの層で高くなっている。「役所（福祉相談窓口）」は単身層で、「地域包括支援センター」は親と自分（夫婦）のみ層で、「福祉委員」は単身、自分（夫婦）と子と孫の層で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-41）

<図表 Ⅲ-41> 判断能力低下時の相談相手〔家族形態別〕

		(複数回答、単位：%)									
		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 (福祉相談窓口)	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー (介護支援相談員)	社会福祉協議会	民生委員
全体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
家族形態別	単身	347	59.7▲	3.2▲	27.7	19.0	15.3	8.6	10.1	5.2	6.1
	夫婦のみ	785	83.3	85.4	14.3▲	13.6	10.4	11.2	8.9	5.2	5.1
	2世代世帯	423	85.6	85.1	22.7	12.5	11.6	9.0	6.6	5.4	3.3
	夫婦と子のみ	351	90.9	89.2	21.1	11.4	9.7	7.1▲	5.7▲	5.7	3.4
	親と自分(夫婦)のみ	72	59.7▲	65.3	30.6	18.1	20.8	18.1	11.1	4.2	2.8
	3世代世帯	196	88.3	54.6	18.9	13.8	9.2	9.2	10.2	4.1	4.1
	自分(夫婦)と子と孫	159	87.4	46.5▲	19.5	13.8	10.1	10.1	11.3	4.4	5.0
	親と自分(夫婦)と子	37	91.9	89.2	16.2	13.5	5.4	5.4	5.4	2.7	-
その他	298	83.2	22.8▲	23.5	12.1	11.1	12.1	9.7	4.7	2.0▲	
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
家族形態別	単身	347	3.5	2.3	2.9	3.7	0.9	0.6	1.4	8.9	0.3
	夫婦のみ	785	3.4	2.2	2.3	0.9	0.6	0.1	-	1.9▲	0.3
	2世代世帯	423	2.1	2.8	1.2	0.5	0.7	0.5	0.2	1.2▲	-
	夫婦と子のみ	351	2.0	2.8	1.4	0.3	0.6	0.6	0.3	0.9▲	-
	親と自分(夫婦)のみ	72	2.8	2.8	-	1.4	1.4	-	-	2.8	-
	3世代世帯	196	2.6	2.0	1.5	2.6	-	0.5	-	4.6	0.5
	自分(夫婦)と子と孫	159	2.5	2.5	1.9	3.1	-	0.6	-	5.7	0.6
	親と自分(夫婦)と子	37	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	298	2.0	1.3	1.3	0.7	1.0	0.3	0.7	3.0	1.3	

本人年収別にみると、「子ども」は100万円未満層で、「配偶者」は500～1,000万円未満層で、「その他親族」「地域包括支援センター」は100～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-42)

<図表 Ⅲ-42> 判断能力低下時の相談相手〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 (福祉相談窓口)	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー (介護支援相談員)	社会福祉協議会	民生委員
全 体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	80.8	55.2	19.2	12.3	10.7	9.2	11.1	5.0	6.5
	100 万 円 未 満	458	84.5	58.5	16.8▲	14.2	12.7	8.5	7.9	4.1	3.1
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	79.1	57.8	22.4	15.4	11.5	11.9	9.3	5.7	4.6
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	80.0	76.1	18.7	9.7	12.3	9.7	7.7	4.5	3.2
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	78.6	60.7	21.4	25.0	7.1	10.7	7.1	7.1	14.3
	2,000 万 円 以 上	9	77.8	88.9	-	-	11.1	-	11.1	-	-
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全 体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
本人 年 収 別	収 入 は な い	261	2.7	1.1	0.4▲	2.7	0.8	-	-	3.8	1.1
	100 万 円 未 満	458	2.8	1.7	1.3	1.1	0.4	-	0.2	2.4	0.4
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	3.1	1.8	2.4	1.5	0.7	0.3	0.5	3.8	0.2
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	3.2	3.9	3.9	0.6	1.3	1.3	1.3	0.6▲	-
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	-	7.1	-	-	-	-	3.6	3.6	-
	2,000 万 円 以 上	9	-	44.4	11.1	-	-	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「子ども」は100万円未満層で低く、1,000～2,000万円未満層で高くなっている。「配偶者」は、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。「地域包括支援センター」は1,000万円以上の層で、「弁護士」「司法書士」は2,000万円以上層で、それぞれ高くなっている。「福祉委員」は100万円未満層で、「社会福祉士」は1,000～2,000万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-43)

<図表 Ⅲ-43> 判断能力低下時の相談相手〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他親族	役所 (福祉相談窓口)	友人	地域包括支援センター	ケア・マネジャー (介護支援相談員)	社会福祉協議会	民生委員
全体		2,084	80.1	59.2	20.1	14.1	11.4	10.2	8.7	5.1	4.4
金融資産別	100万円未満	204	73.5▲	49.5▲	15.7	16.7	10.8	6.9	7.4	7.4	3.4
	100～500万円未満	265	78.1	49.4▲	19.6	14.0	13.2	10.6	8.7	4.2	6.0
	500～1,000万円未満	205	84.9	62.0	23.4	12.7	11.7	8.3	5.4	3.9	4.4
	1,000～2,000万円未満	280	85.0	67.9	22.1	15.0	13.2	13.6	9.3	5.7	5.7
	2,000万円以上	399	79.2	71.2	23.1	14.3	12.3	14.5	9.5	6.3	4.5
		N	近隣住民・町内会	弁護士	司法書士	福祉委員	社会福祉士	NPO法人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		2,084	2.8	2.2	2.0	1.4	0.7	0.3	0.4	3.4	0.4
金融資産別	100万円未満	204	1.0	2.0	1.5	3.9	1.0	0.5	1.0	4.9	1.0
	100～500万円未満	265	3.4	2.3	-	2.6	0.4	0.4	-	3.8	-
	500～1,000万円未満	205	2.4	0.5	-	1.5	0.5	0.5	0.5	2.4	-
	1,000～2,000万円未満	280	3.6	2.5	2.9	1.4	1.8	0.7	0.4	2.5	-
	2,000万円以上	399	3.8	5.0	5.3	0.5	0.5	0.3	-	1.8▲	-

⑤判断能力低下時の金融資産の取扱い方

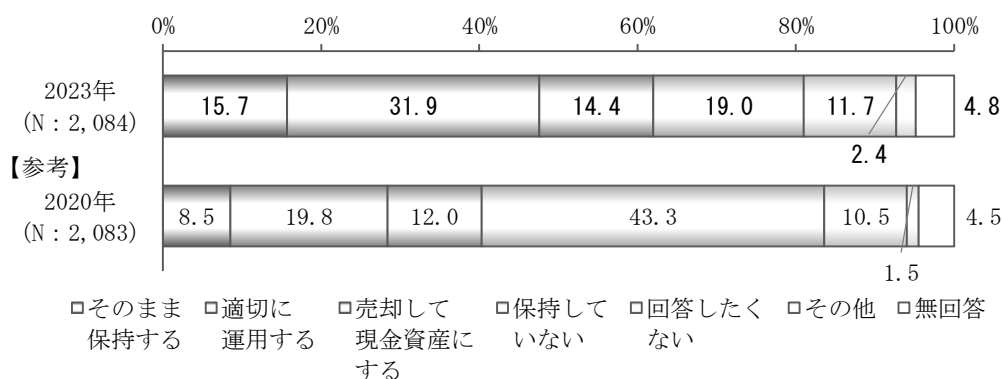
判断能力が不十分になったときに、家族や成年後見人に望む金融資産の取扱い方を捉えるため、以下のように尋ねた。

将来、判断能力が不十分になったときに株や証券、保険などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。この中から1つだけお答えください。

- 1 そのまま保持する
- 2 適切に運用する
- 3 売却して現金資産にする
- 4 保持していない
- 5 回答したくない
- 6 その他

その結果、具体的な取扱い方としては、「適切に運用する」が31.9%と最も多く、「そのまま保持する」が15.7%、「売却して現金資産にする」が14.4%と続いている。また、金融資産を「保持していない」が19.0%、「回答したくない」が11.7%となっている。(図表Ⅲ-44)

<図表 Ⅲ-44> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方



※前回との比較にあたり、質問文が、前回「将来、判断能力が不十分になったときに株や証券などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。」から、今回「将来、判断能力が不十分になったときに株や証券、保険などの金融資産を家族や成年後見人にどのように扱って欲しいですか。」に変更されたことに留意する必要がある。

性別にみると、「そのまま保持する」は、女性の方が男性より高くなっている。
 年齢別にみると、「適切に運用する」は、60～69歳の層で高く、80～89歳の層で低くなっている。
 「売却して現金資産にする」は、60～64歳で高くなっている。(図表Ⅲ-45)

<図表 Ⅲ-45> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔性別・年齢別〕

(単位：%)

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 ない持 いし て	ない回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
性 別	男 性	996	13.8▲	33.9	15.0	19.6	11.0	1.9	4.8
	女 性	1,088	17.5	30.1	13.9	18.5	12.3	2.9	4.9
本 人 年 齢 別	60～64歳	380	12.1▲	36.8	22.4	13.9▲	10.8	1.6	2.4▲
	65～69歳	400	14.3	37.3	11.8	18.5	13.8	2.0	2.5▲
	70～74歳	463	15.8	32.0	13.6	20.7	10.8	2.2	5.0
	75～79歳	369	16.8	30.9	13.8	18.7	9.8	2.4	7.6
	80～84歳	273	19.0	24.9▲	12.8	21.6	13.2	3.3	5.1
	85～89歳	141	20.6	22.0▲	9.9	22.0	14.2	4.3	7.1
	90歳以上	58	13.8	25.9	8.6	24.1	10.3	5.2	12.1

未既婚別にみると、「適切に運用する」「売却して現金資産にする」は、既婚（配偶者あり）層で高く、既婚（離別・死別）層で低くなっている。「保持していない」は既婚（離別・死別）層で高くなっている。(図表Ⅲ-46)

<図表 Ⅲ-46> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔未既婚別〕

(単位：%)

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 ない持 いし て	ない回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
未 既 婚 別	未 婚	117	8.5▲	23.9	17.9	18.8	22.2	5.1	3.4
	既婚（配偶者あり）	1,450	16.1	34.2	15.4	17.9	10.1▲	1.9▲	4.3
	既婚（離別・死別）	508	16.5	27.4▲	10.8▲	22.2	14.0	3.3	5.7

家族形態別にみると、「売却して現金資産にする」は、夫婦のみ、親と自分（夫婦）のみの層で高くなっている。「適切に運用する」は単身層で低くなっている。（図表Ⅲ-47）

<図表 Ⅲ-47> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔家族形態別〕

（単位：％）

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 な持 いし て	な回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
家 族 形 態 別	単 身	347	15.9	20.5▲	13.3	21.9	16.7	4.0	7.8
	夫 婦 の み	785	14.4	33.4	17.8	18.7	9.8▲	2.3	3.6▲
	2 世 代 世 帯	423	17.5	35.0	14.9	17.3	11.6	0.7▲	3.1
	夫 婦 と 子 の み	351	17.9	36.2	12.5	17.4	11.7	0.6▲	3.7
	親と自分（夫婦）のみ	72	15.3	29.2	26.4	16.7	11.1	1.4	-
	3 世 代 世 帯	196	16.3	37.2	10.7	17.9	10.7	1.0	6.1
	自 分（夫 婦）と 子 と 孫	159	16.4	36.5	10.1	18.9	10.1	1.3	6.9
親と自分（夫婦）と子	37	16.2	40.5	13.5	13.5	13.5	-	2.7	
そ の 他	298	16.8	33.6	9.4▲	19.8	12.1	3.7	4.7	

本人年収別にみると、「適切に運用する」は、収入はない、100万円未満層で低く、100～1,000万円未満層で高くなっている。「保持していない」は、100万円未満層で高くなっている。（図表Ⅲ-48）

<図表 Ⅲ-48> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔本人年収別〕

（単位：％）

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし すて る現 金	い保 な持 いし て	な回 い答 した く	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
本 人 年 収 別	取 入 は な い	261	16.1	22.6▲	13.4	23.4	14.6	2.3	7.7
	100 万 円 未 満	458	17.7	26.4▲	11.8	23.8	13.8	2.8	3.7
	100 ～ 500 万 円 未 満	1,067	15.6	34.3	15.6	17.3▲	9.7▲	2.6	4.9
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	155	14.2	43.9	16.8	12.3▲	8.4	0.6	3.9
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	28	17.9	39.3	25.0	7.1	10.7	-	-
	2,000 万 円 以 上	9	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「適切に運用する」「売却して現金資産にする」は、高資産層になるほど高くなっている傾向がみられる。一方、「保持していない」は、低資産層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-49)

<図表 Ⅲ-49> 判断能力低下時の金融資産の取扱い方〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	保そ 持の すま るま	す適 る切 に運 用	資売 産却 にし て現 金	い保 ない持 いして	な回 い答 した たく	そ の 他	無 回 答
全 体		2,084	15.7	31.9	14.4	19.0	11.7	2.4	4.8
金 融 資 産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	204	14.7	18.1▲	6.4▲	39.7	14.2	2.9	3.9
	100 ～ 500 万 円 未 満	265	17.7	35.1	12.1	19.6	9.8	2.3	3.4
	500 ～ 1,000 万 円 未 満	205	19.5	31.7	14.1	21.0	8.8	1.5	3.4
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	280	16.4	40.7	20.4	11.8▲	5.4▲	1.1	4.3
	2,000 万 円 以 上	399	15.0	41.9	23.3	7.8▲	6.3▲	2.5	3.3

⑥判断能力低下時の金融資産の取扱い者

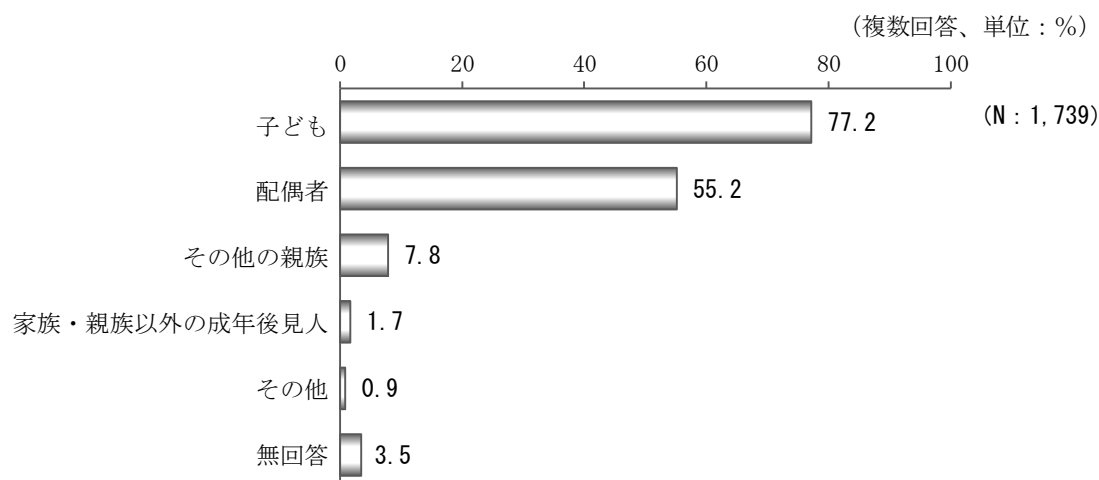
判断能力低下時の金融資産の取扱い者を捉えるため、以下のように尋ねた。

(前問で1～4、6と答えた方(「回答したくない」以外の回答の方)に)その際、家族の誰に扱ってほしいですか。この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 その他の親族
- 4 家族・親族以外の成年後見人に託したい …………… 以下「家族・親族以外の成年後見人」
- 5 その他

その結果、「子ども」が77.2%と最も多く、次いで「配偶者」が55.2%となっている。(図表Ⅲ-50)

<図表 Ⅲ-50> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者



性別にみると、「子ども」は、女性の方が男性を上回っている。「配偶者」は、男性の方が女性を大きく上回っている。「家族・親族以外の成年後見人」は、女性より男性が高くなっている。

年齢別にみると、「配偶者」「その他の親族」は、低い年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表Ⅲ-51)

<図表 Ⅲ-51> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔性別・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・親族以外の成年後見人	その他	無回答
全体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
性別	男性	838	71.4▲	69.1	8.4	2.5	1.3	2.5▲
	女性	901	82.7	42.3▲	7.3	0.9▲	0.4	4.3
本人年齢別	60～64歳	330	73.9	62.1	13.3	1.8	0.9	1.8
	65～69歳	335	72.8▲	60.0	9.0	2.7	0.9	3.6
	70～74歳	390	76.9	60.0	7.2	1.8	1.0	3.8
	75～79歳	305	79.3	56.4	6.2	1.6	0.7	2.6
	80～84歳	223	81.6	46.2▲	4.0▲	0.9	0.4	4.5
	85～89歳	111	82.0	32.4▲	3.6	-	1.8	6.3
	90歳以上	45	88.9	20.0▲	4.4	-	-	4.4

未既婚別にみると、「子ども」は、既婚（配偶者あり）層と既婚（離別・死別）層で高くなっている。「その他の親族」「家族・親族以外の成年後見人」は、未婚層で高くなっている。（図表Ⅲ-52）

<図表 Ⅲ-52> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔未既婚別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族 成年・ 後親 見族 人以外	その他	無回答
全 体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
未既婚別	未 婚	87	5.7▲	-	67.8	14.9	5.7	9.2
	既婚（配偶者あり）	1,241	78.7	77.4	3.5▲	0.6▲	0.4▲	2.5▲
	既婚（離別・死別）	408	88.0	-	8.3	2.2	1.2	4.9

家族形態別にみると、「子ども」は、夫婦と子のみ、自分（夫婦）と子と孫の層で高くなっている。「配偶者」は、夫婦のみ、夫婦と子のみ層で高くなっている。「その他の親族」は、単身、親と自分（夫婦）のみの層で、「家族・親族以外の成年後見人」は単身層で、それぞれ高くなっている。（図表Ⅲ-53）

<図表 Ⅲ-53> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔家族形態別〕

（複数回答、単位：％）

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族 成年・ 後親 見族 人以外	その他	無回答
全 体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
家族形態別	単 身	262	64.5▲	3.4▲	23.7	6.9	3.1	6.5
	夫 婦 の み	680	76.8	78.1	4.6▲	0.3▲	0.4	2.6
	2 世 代 世 帯	361	80.3	77.0	4.4▲	1.1	0.3	1.7▲
	夫 婦 と 子 の み	297	83.8	79.8	1.0▲	0.3▲	-	2.0
	親と自分（夫婦）のみ	64	64.1▲	64.1	20.3	4.7	1.6	-
	3 世 代 世 帯	163	89.0	49.1	1.2▲	0.6	-	2.5
	自 分（夫婦）と子と孫	132	90.2	40.9▲	1.5▲	0.8	-	3.0
	親と自分（夫婦）と子	31	83.9	83.9	-	-	-	-
そ の 他	248	79.8	20.6▲	10.1	1.2	1.2	4.8	

本人年収別にみると、「配偶者」は500～1,000万円未満層で、「その他の親族」は100～500万円未満層で、それぞれ高くなっている。(図表Ⅲ-54)

<図表 Ⅲ-54> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔本人年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・ 成年・ 後親 見族 人以外	その他	無回答
全体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
本人 年収 別	収入はない	203	73.9	50.2	9.4	-	2.0	6.9
	100万円未満	378	81.0	53.4	4.2▲	1.3	0.5	4.0
	100～500万円未満	911	76.3	54.8	9.8	2.2	1.0	2.6
	500～1,000万円未満	136	79.4	75.0	4.4	2.2	-	0.7
	1,000～2,000万円未満	25	72.0	40.0	8.0	4.0	-	-
	2,000万円以上	8	87.5	87.5	-	-	-	-

世帯保有金融資産別にみると、「配偶者」は、高資産層ほど高くなっている。「家族・親族以外の成年後見人」は、100万円未満層で高くなっている。(図表Ⅲ-55)

<図表 Ⅲ-55> 判断能力低下時の金融資産の取扱い者〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	子ども	配偶者	その他の親族	の家族・ 成年・ 後親 見族 人以外	その他	無回答
全体		1,739	77.2	55.2	7.8	1.7	0.9	3.5
金融 資産 別 世帯 保有	100万円未満	167	65.9▲	41.9▲	7.8	3.6	1.8	9.6
	100～500万円未満	230	77.0	47.4▲	10.4	2.2	0.4	1.3
	500～1,000万円未満	180	80.0	53.9	6.7	0.6	0.6	2.8
	1,000～2,000万円未満	253	79.4	66.0	9.1	1.2	0.4	1.6
	2,000万円以上	361	78.7	67.6	9.1	2.2	0.3	0.6▲